

L'ÉVENTAIL
de
Marie Laurencin

マリー・ローランサンの扇

2010年1/26[火]▶3/28[日] 川村記念美術館

開館時間:9時30分-17時(入館は16時30分まで) 休館日:月曜日(3/22[月・祝]は開館、3/23[火]は休館)
入館料:一般1,100(900)円/学生・65歳以上900(700)円/小中学生・高校生500(400)円 *()内は20名以上の団体料金
主催:川村記念美術館[DIC株式会社] 後援:千葉県/千葉県教育委員会/佐倉市/佐倉市教育委員会
協力:マリー・ローランサン美術館



Kawamura
Memorial
Museum of Art

ピカソやマティスが活躍した20世紀初頭の芸術都市パリ。マリー・ローランサン(1883-1956)は若き前衛芸術家の仲間と囲まれ、その刺激的な環境の中でパステルカラーによる独自の絵画をつくりあげました。しかし詩人アポリネールと別れた後にドイツ人と結婚したマリーは、第一次世界大戦によって「敵国人の妻」となり、中立国スペインで5年間の亡命生活を送ります。戦後、離婚によってマリーがフランス国籍を回復すると、友人たちは彼女の帰国を喜び祝う詩集を出版しました。マリー自身が挿絵を付けたこの挿画本は、『扇』と名付けられます。洗練された魅惑的な女性を連想させる扇は、

マリー・ローランサンのシンボルとなっていたのです。

多くの詩人を友人に持ち、自らも詩を書いたマリー。マリー・ローランサンの絵画世界は、色彩と詩情が織りなすアラベスクと呼べるでしょう。パステルカラーで描かれた抒情的な画面は、親しい人との別離や亡命生活の苦悩を経て憂いを秘めた深い色合いを帯び、帰国後の充実した制作の中では、幻想的な緑の森や、輝く明るい色彩が生み出されてゆきました。本展ではマリー・ローランサン美術館のご協力により、青春時代から円熟期までの歩みを、代表的な油彩画のほか、それぞれの時代に描かれた自画像、挿画本など33点の作品によってご紹介いたします。



《猫と女あるいは蜘蛛のプリンセス》1920年 マリー・ローランサン美術館蔵 © ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2009



《ディアナ》1921年 マリー・ローランサン美術館蔵 © ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2009



『扇』1922年 マリー・ローランサン美術館蔵

【学芸員によるギャラリートーク】

1月26日[火]、2月20日[土]、3月13日[土]

予約不要(先着40名まで)。14:00にエントランスホールにお集まりください。

この他、上記3日間以外は毎日14:00よりガイドスタッフによるガイドツアーがあります。

【ミュージアムショップ】

パリに生まれ育った生粋のパリジェンヌであるマリーは、「私は贅沢が好き」と刷ったレターペーパーを愛用していました。特設ショップでは絵はがき・筆箋・クリアファイル・カップ&ソーサーなどのグッズや関連書籍を販売するほか、フランスの豊かな香り&エスプリを感じさせる雑貨を取りそろえました。

【レストラン】

ピカソのアトリエで催された祝宴に招かれたマリーは、お酒に酔ってケーキの上に尻餅をついてしまい、ピカソの愛人だったフェルナンドをかんかんに怒らせてしまいました。マリーの青春時代のちょっぴり苦い思い出にちなみ、レストランでは特別なケーキセットをご用意しております(1000円、コーヒーまたは紅茶付き)。

【展覧会カタログ】

展覧会カタログでは『扇』所収の詩のほか、マリーの作品と人生にまつわるエピソードをコラム形式でご紹介します。またアーティスト・文筆家として活動する辛酸なめ子氏が、独自の視点からマリーの世界を分析したエッセイもお見逃しなく。



《小舟》1920年頃 マリー・ローランサン美術館蔵 © ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2009

【交通アクセス】

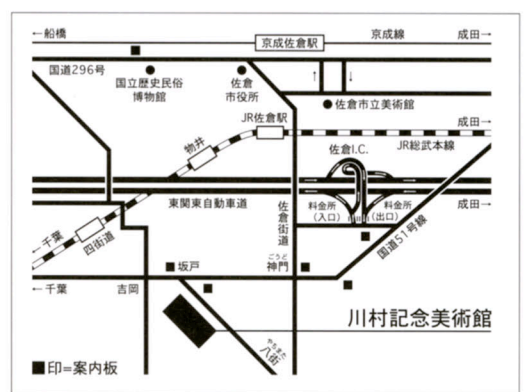
車：東関東自動車道「佐倉IC」より国道51号を千葉方面に進み、「坂戸」交差点を左折、県道22号線(八街横芝線)を八街方面へ約700m直進右手[約10分] 無料駐車場300台

JR佐倉駅から：JR総武快速線「エアポート成田」で東京駅より直通[約60分] 南口の川村記念美術館バス停から無料送迎バス[約20分]

京成佐倉駅から：京成本線(成田方面行き、特急/快特)で京成上野駅より直通[約60分] 南口のシロタカメラ前のバス停から無料送迎バス[約30分]

【送迎バス時刻表】 赤字は土日祝日のみ運行

京成佐倉駅	JR佐倉駅	美術館着	美術館発お帰りの便
8:50	9:00	9:20	10:50
9:10	9:20	9:40	11:20
9:50	10:00	10:20	11:50
10:20	10:30	10:50	12:50 (慶博経由)
10:50	11:00	11:20	13:20
11:20	11:30	11:50	13:50 (佐倉市美術館)
11:50	12:00	12:20	14:20
12:20	12:30	12:50	14:50
—	13:00	13:20	15:20
13:20	13:30	13:50	15:50
13:50	14:00	14:20	16:20
14:20	14:30	14:50	16:45
14:50	15:00	15:20	17:15
15:20	15:30	15:50	
15:50	16:00	16:20	



川村記念美術館 Kawamura Memorial Museum of Art
千葉県佐倉市坂戸631 tel:0120-498-130 http://kawamura-museum.dic.co.jp